

2016年(平成28年)12月号



No. 345

発行: 沖縄県中小企業家同友会 編集: 広報委員会

〒901-0152 沖縄県那覇市小塚1831番地1 沖縄産業支援センター603号 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208 http://www.okinawa.doyu.jp E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい



野さんが創業し「自分らしい生き方をしてもらう人を増やす」ことを目指し、イベントやセミナー、セラピー、人材育成をしています。起業のきっかけは、下野さん自身がうつになり、身体も病み人生のどん底を味わい苦しんだ経験からだとか。自身の内なる声に導

大型施設MICEが建設予定である話題の与那原町東浜マリントアウンにある(株)母太樹。扉を開けると、明るく落ち着いた雰囲気サロンの下野さんが出て来てくれました。

起業のきっかけは、人生のどん底の経験から



同友会の醍醐味を知るために、役員になって!!

(株)母太樹 代表取締役 下野 たえ子 氏

「魂」のステップアップを お手伝い!

セラピーやセミナーを受講される方には自分自身や、体とのコミュニケーションの大切さを伝えていきます。当初は、セラピーを

かれ、問題解決セラピスト、アロマセラピストをはじめ様々な資格を取得。身体や心が病んでいては夢を叶える事はできないと、「本来の自分」魂(マブイ)の内なる声に気付き本来の道に進むための「魂セラピー」を確立しました。

中心にスタートしたものが、現在では県外にも講師として招かれセミナー開催するほど事業内容も広がっています。それに伴い、個人事業主から昨年は株式会社へと法人化。着実にステップアップしている印象を受けました。

同友会と出合い 学びが深まる

現在、南部支部の役員をはじめ碧の会、社員教育委員会、健康者委員会でも活動している下野さん。さらに、経営指針作成講座や同友会大学など同友会のプロ

グラムも多数、受講しており、同友会での学ぼうという姿勢には驚かされます。また、「社長・社員共育塾」には三年前から社員と一緒に参加しており、同友会で学んだことの共有化を図っています。



社員とベクトルを合わせやすくなった「理念の図」

沖縄県中小企業家同友会 2017年新春のつどい
とき 2017年1月27日(金) 17:30~21:00
ところ ホテルゆがふいんおきなわ 名護市宮里 453-1
内容 第I部「新春講演」(17:30~19:00)
第II部「新年懇親パーティー」(19:20~21:00)
会費 会員(一律): 5,000円(懇親会費含む)
社員・ゲスト: 1,000円(講演のみ)
※懇親会まで参加の場合、5,000円

起業する方を総合的に サポートしたい

母太樹でセラピーやセミナーを受講した方は、ス

同友会の醍醐味を知るには是非、役員になってくださいとのことでした。

下野さんは現在、与那原町商工会の女性部長も務めています。同友会での学びは商工会での活動にも活かされており、同友会で役員をしているからこそ学べた事が多いとか。

同友会の醍醐味を知るには是非、役員になってくださいとのことでした。

下野さんが起業する方に同友会の学びを伝えることができるのは、多くの学びを実践し活かしているからこそだと感銘を受けたインタビューでした。

(株)カリタス・根橋理香

《会社概要》
(株)母太樹
代表取締役 下野 たえ子 氏
(南部支部)
所在地/与那原町字東浜92-4
TEL/098-943-3303
事業内容/人材育成、セラピー、セミナー
URL/http://www.bodaijiyu-space.net

NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公、真田幸村に人気が集まっている。好視聴率の理由として、子供から大人まで誰もが知っている超有名な幸村とその生涯を題材としたこと。ストーリーがシンプルで分かりやすく、面白いけど深みがあることだと思

う。筆者も毎回、画面に引き付けられている。ただ回を追うごとに、戦国の荒波を生き残った真田家に、中小企業経営者のしたたかさを感じるようになった▼それは、①徳川・北条・上杉などの大名(大企業)に、時として従属しながらも優れた戦略眼と智慧で、自らの領地を勝ち取り守った。②数倍勢力の徳川軍に対して、独自の技術力と結束力・小回りのきく行動力で計三度も破る

「弱者が強者に打ち勝つ」戦略。③明治まで続いた真田藩の基礎を築く事業継承。他にも人材登用・辛抱強さ・情報戦等々▼

なによりも、幸村の「必ず勝つ」「最後の最後まで絶対あきらめない」姿勢は見習いたい。我々もさまざまな経営課題を抱えているが、同友会の仲間や、課題を克服できる仕組みを武器として、日々戦っている▼年が明けると、仲間づくり・春の陣が始まる。その「素晴らしい仲間と仕組み」を友人経営者に楽しく伝えていこう!(組織委員長)

NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公、真田幸村に人気が集まっている。好視聴率の理由として、子供から大人まで誰もが知っている超有名な幸村とその生涯を題材としたこと。ストーリーがシンプルで分かりやすく、面白いけど深みがあることだと思



参加者全員で「ハイチーズ！」

十一月九日、建設関連部会「みらい21」主催で、現在建設中の浦添北道路現場視察会を開催し、発注者である総合事務局の方に現場を案内して頂き、事業概要及び工事進捗状況、施工における工法技術を学びました。

みらい21視察 幹線道路周辺のネットワーク整備は、まちづくりと観光振興への貢献

浦添市西洲と宜野湾市宇地泊とを繋ぐ浦添北道路・臨港道路浦添線（延長4.5km）が二〇一七年度に開通することにより、①パイパス機能による国道58号線の渋滞緩和、②那覇港物流機能の強化、③中部西海岸地区のまち

づくり支援、④空港・港湾へのアクセス性向上等のストック効果が期待されています。幹線道路を中心とした周辺道路とのネットワーク整備が今後の物流及びまちづくり支援、そして観光振興へ貢献する重要な事業であると改めて感じる視察となりました。第二弾（二月頃開催予定）もお楽しみに！（丸元建設・糸数幸恵）



佐藤 全氏

第2分科会 社長の給料は誰がくれるのか ↓それは社員

第二分科会は、「将来を見据えた採用と教育に取り組みますか？経営者の仕事と採用・共育」をテーマに（株）ヴィ・クルーの社長佐藤全氏（宮城同友会）が報告を行いました。佐藤氏は、先代が建てた東日本最大の整備工場を引

き継ぐことから始まりました。年商よりも大きな借金を抱え、経営も厳しい中で引き継ぎ、通常であれば、経費等を考えると「新卒採用」は考えませんが、佐藤氏は「必ず成長する。十年後勝てる組織をつくらう」と新卒採用を毎年続けました。その結果、他は職人が高齢化する中、若手社員が成長し、他の工場ではできないフットワークの軽さで多様な仕事を行っています。

最後に「社員の給料は誰がくれるのか？↓お客様」では「社長の給料は誰がくれるのか？それは社員」その言葉に「考えさせられた」という意見が多くありました。（オフィスキヤリエー 小那覇りな）

十一月二十九日、ロワジールホテル那覇にて第二十七回経営研究集会在一九五名の参加で開催されました。基調講演は『足もとに笑顔をお届けする会社』奇跡を起した「ピンクの靴」業績ではなく「継続」を目指して歩み続けるをテーマに、徳武産業（株）の十河孝男会長

（香川同友会）に報告して頂きました。徳武産業（株）は、奥様の両親が一九五七年に創業した会社で、手袋業者の下請けとして始めました。しかし、手袋は季節商品であるため、一九六六年に年間を通して仕事があるスリッパに事業転換しました。

十河氏は、銀行に六年間勤めた後、一九七一年に奥様の叔父が経営する手袋会社に入社。一九八四年に先代社長の義父から徳武産業（株）の跡継ぎをして欲しいと強い要請を受け「引継ぎのため二年間待つて欲しい」と言われた二十日後に急死。急に三十七歳で社長になるも、大手商社の担当者から「海外に工場を作るためオーダーはなくなる」と告知されます。また、OEM（他社ブランド製品製造）

に学び、「損得」ではなく「善悪」を考えるようになりました。苦悩の時も経営理念に立ち返り「天職」に巡り合えたことを誇りに思い、常に感謝の気持ちを忘れないことを教える素晴らしい講演会でした。その後、五つの分科会に分かれそれぞれのテーマで学び、懇親会で親睦を深めました。今回は、「九州・沖縄エリア青年経営者合同例会」のPRで長崎や福岡の同友会のメンバーも参加しており、普段と少し違った雰囲気での懇親会でした。

健康問題で社員が退職してからワークライフバランスを重視し、健診でメタボ判定の社員へ万歩計を配布し報告を義務付けるなどの取り組みが報告されました。また会社には三十一年間経営指針がなく、社長・社員・部署が全て違う方向を向き仕事を行っていたため、「このままでは会社が立ち行かなくなる」と危機感を抱いた社長が専務と共に「経営指針作成講座」を受講し経営指針を作成したところ、同じ方向を向き仕

事をやる職場環境へと変化し、今は業績も右肩上がり。経営指針の重要性を実感した現在は、幹部社員を「経営指針作成講座」に受講させているとの事でした。グループ討論では、経営指針で会社は良くなるのか？について意見交換がされました。（旬リサイクルセンター 沖縄・玉城栄）



また、メーカーとしても成長し続けています。その背景にあったのは、宮城同友会の「経営指針を創る会」。「経営指針・会社の後悔凶と羅針盤を作成」「社員教育・理念経営を目指し共育の実践」「共同求人・会社の担い手育成と社会教育活動」の三位一体で取組むことの重要性を学び、実際に取り組んだ結果、今の成長につながったとのこと。とにかく「忍耐」という佐藤氏の言葉に、ここまで会社を成長させた「人柄」を感じました。

第27回経営研究集会 基調講演 経営理念に立ち返り、仕事への「誇り」と「感謝」を大切に！



十河孝男氏

ある時、三年間歩いていないおばあさんがピンクの靴を購入しました。ピンクの靴が『私を履いて。そして一緒に歩こう』と話しかけてきたそうです。それから半年後、歩き始めることができ、この仕事をしていて本当に良かったと心から思えた瞬間でした。また、筋ジストロフィーの青年が来社し、足に合う靴が無く、十年近く靴下のままだった彼に靴をつくり、涙を流しながら喜んでくれたお話も心に響きました。

十河会長は、一九八九年に中小企業家同友会に入会。その時、経営指針部会で経営計画の立て方を必死

第一分科会では「変化に適応し、常に変わり続ける経営指針で会社を鍛え直す」をテーマに、（株）沖縄エジソンの社長である中山淳氏が報告を行いました。



中山淳氏

第1分科会 経営指針の重要性を実感

健康問題で社員が退職してからワークライフバランスを重視し、健診でメタボ判定の社員へ万歩計を配布し報告を義務付けるなどの取り組みが報告されました。また会社には三十一年間経営指針がなく、社長・社員・部署が全て違う方向を向き仕事を行っていたため、「このままでは会社が立ち行かなくなる」と危機感を抱いた社長が専務と共に「経営指針作成講座」を受講し経営指針を作成したところ、同じ方向を向き仕

情報関連部会「eおきなわ」主催の「東京・大阪・福岡・沖縄IT部会交流会 in 沖縄」が十一月四日、那覇セントラルホテルにて六十八名の参加で開催されました。開会セレモニーでは、高橋庸正・eおきなわ部長の歓迎挨拶と大阪同友会IT部会会長友会・種田真吾氏の挨拶がありました。記念講演では、「小さな島



合同例会のPRをする青年部

に立ち返り「天職」に巡り合えたことを誇りに思い、常に感謝の気持ちを忘れないことを教える素晴らしい講演会でした。その後、五つの分科会に分かれそれぞれのテーマで学び、懇親会で親睦を深めました。今回は、「九州・沖縄エリア青年経営者合同例会」のPRで長崎や福岡の同友会のメンバーも参加しており、普段と少し違った雰囲気での懇親会でした。



神谷武史氏

の大きな文化」をテーマに、講師の神谷武史氏が、沖縄の伝統芸能を取り入れた講演内容で、沖縄の文化を発信しました。引き続き、「沖縄県のアジア戦略と情報産業に関する支援制度について」をテーマに、沖縄県商工労働部産業振興統括監の玉那覇靖氏より、県内での各種成功事例紹介や支援制度についての報告がありました。最後は、和気合い合いとした雰囲気の中、全参加企業による三分間のプレゼン合戦を行いました。



仲間と楽しい一時

最後の懇親会は、小渡玲沖縄同友会・代表理事よりの乾杯挨拶で始まり、各地からの活動報告を含め懇親を深めました。最後に次回開催地の東京同友会より「次回も会いましょう」と約束し合う閉会挨拶で終了しました。

また、メーカーとしても成長し続けています。その背景にあったのは、宮城同友会の「経営指針を創る会」。「経営指針・会社の後悔凶と羅針盤を作成」「社員教育・理念経営を目指し共育の実践」「共同求人・会社の担い手育成と社会教育活動」の三位一体で取組むことの重要性を学び、実際に取り組んだ結果、今の成長につながったとのこと。とにかく「忍耐」という佐藤氏の言葉に、ここまで会社を成長させた「人柄」を感じました。



第263回

Powerful Management

代表 廣瀬孝一氏

鹿児島生まれ大阪育ち。十八歳で大手電機メーカーに就職し販売



廣瀬孝一氏

第三分科会では、「先代のリーダーシップと二代目の果たす役割」をテーマにイカリ消毒沖繩(株)・取締役の仲本明氏が報告を行いました。



仲本明氏

第3分科会

感謝することが会社の発展に繋がる

話していました。

その上で仲本氏は、二代目の役割とは社員・お客様・家族に感謝し、その全てを幸せにすることであり、それが会社の発展に繋がるとして、同友会で学びを深め実践して行きたいと考えています。

さらに仲本氏は、アリの目線(労働型社長、トリの目線(経営型社長)というこ

第4分科会

地域の総合力を高め、地域を担う人を育てる

第四分科会では、『地域連携による事例報告』つながる力、巻き込む力』をテーマに、官・民連携を通

部門に所属、香川、愛媛、石川と渡り歩き、一九九九年に沖繩にやってきました。

「このように売り方をしてみませんか」という提案や研修を行っていました。

「転機が訪れたのは二〇一一年三月。震災の報道を目の当たりにし自分を

見つめなおした時に、自分の力で世の中に認められて感謝されるような仕事を自分からつくりたいという思いが沸き上がり、三十年務

とを同友会で学び、以降、経営型社長になるべく、経営指針作成講座を受講するなど積極的に同友会に参加しています。

これまでに、知的資産報告書の作成や報告書作成員の配置による残業時間の短縮、IT化の推進等、会議時間を短縮しながら、全社員が方針・計画を共有することができるような会議全体の仕組みづくりなど様々な取り組みを行い、業績向上に繋がっていると話していました。

(株)沖繩MIE・上地裕介

じた6次産業化の新しいスキームによる地域活性化事例について、コープおきなわの石原修氏による基調報告

めた大手電機メーカーを退職し起業しました。

これまでの経験を活かして人材育成をやっていくと決めていました。まずはNLPという心理学の資格やコーチングの資格をとって、様々な要望に応えられるように自分のキャパを広げました。

それらの資格を取るには、一コース何十万とするんです。そこから会社で使えそうなものだけ抜き出すことができれば、沖繩の企業に安く提供できると考えたんですね。

私が大切にしていることは、その人が持っているポテンシャルをいかに引き出すかと言うこと。社長が言うところのパワハラになるようなことも、外部の人間なら理想論を語れます。「そうは言っても」という所に課題が眠っていることがあり、それを引き出すためには遠慮せずにあるべき姿を言えるかがポイントだと思っています。

これを始め、地域と連携した商品開発に取り組み(株)琉珉珉の比嘉竜児社長、行政マの立場から地域活性化の仕組みづくりを行う読谷村ゆたさむら推進部部長の山内嘉親氏による事例報告が行われました。



グループ討論で学ぶ参加者

世の中に認められて感謝される仕事をつくりたい

から、その会社や参加者に合わせながら遠慮なく舵を切り

キャッチコピーの作り方 Vol.5

話し合う・語り合うことの大切さ

こんにちは。山原です。今回は、「顧客分析が一通りまとまったら、次は競合分析。この時もあくまでも視点は、顧客」というところまででした。今、読み返してみても、「顧客分析が一通りまとまったら…」ってのは、あまりにも乱暴すぎ…。まとめるってどうやるの？そこが肝心なんじゃない！手を抜いたらイカンのんちがう？……、という声が聞こえてきます…。

んじゃどうまとめるのか。ひとことでもいい切ると、みんなできちんと話し合ひましょうよ。あの時、あのお客さんは、こんな風に喜んでくれた、とか、逆に、もう一息で買ってくれそうだったんだけど、なぜか気が変わった…とか。一人ひとりのお客様について、それぞれの記憶に残っていることを語り合い、共有しましょうよ、ということなんです。

特に大切なのが、「問い合わせたり、来店してくれたきっかけは何なのか」、あるいは「だれの紹介で問い合わせたのか」といったお客様との接点についてそれぞれが持っている情報や、「どの商品を何が気に入って購入してくれた」のかという購買動機につながる情報なんかは、決定的に重要ですよ。もちろん、話し合う前にABC分析とか、B to Cなら、RFM分析なんかはきちんと前提として押さえておいたほうがいい。たとえ、「なんか、分析する前から分かってたことじゃん」という結果になるにしても、前提を共有するだけでも意義があると思いますよ。

さて、そうやって話し合いの場を持つときに大切なことはいくつかあります。まず、死活的に重要なのが「傾聴」。人の話を聞く、こと。これがなかなか思ったより、難しい。特に役職が高いほど…。

ということで、今回は、リーダーが身に付けたいファシリテーションの態度とスキルについて、お話ししましょうね。

売れるチカラ! OKINAWA 代表 山原朝哉

プロフィール 「中小企業の経営活動そのものが地域貢献である」という考えのもと、沖縄の発展に貢献する企業の役に立つため、経営コンサルティング、マーケティング・コンサルティングを中心に活動しています。特にファシリテーションやコーチングによる社員を巻き込んだコンサルティングを得意としており、コミュニケーション能力の育成を通してクライアント企業の社員のやる気・元気を引き出しています。

- ・旧姓 辻土朝哉
・沖縄県那覇市出身
・沖縄県立那覇高等学校
・私立法政大学法学部政治学卒
・(財)沖縄県産業振興公社登録専門家

売れる!チカラ OKINAWA ホームページ! http://urechika.com/

第5分科会

社長の常識は、社員の幸せにつながっていますか?

担う人を育てていくというストーリーを学んだことを踏まえ、自社の6次産業化

についての可能性を探りながら学びを深めました。(株)丸元建設・糸数幸恵

第五分科会は報告者三名(株)アラ・ウェブクリエイティブ社長・寺田克彦氏、(株)東日産自動車社長・赤嶺英仁氏、(株)スタプランニング社長・又吉里美氏)とコーディネーターにオフィスあるふあ代表・青山喜佐子氏の四名でパネルディスカッションを行いました。

近年、職場の労働環境に関するトラブルは増加しています。その対応策、その後の改善策について意見を述べました。『労使見解』の考え方でも「社員はパートナー」で互いに会社を良くし発展していくという視点と、日頃のコミュニケーションを大切にすることが仕事へのやりがいや創造性を促せる等の指摘がありました。

報告から昨今企業の仕組み・働き方が多様化しており、職場の環境にあった就業規則などの整備が企業存続を左右する事を参加者は学びました。グループ討論でも様々な意見があがり、今後も更に複雑になる雇用形態に向けて、経営者は必要な知識と情報を得ることが重要であり、またそれをしっかりと明文化して社員と共有できる職場環境づくりが不可欠であると感じさせる分科会でした。



パネリストの3氏

Powerful Management 代表 廣瀬孝一氏 (中部支部) 所在地/ 恩納村字名嘉真1765-162 TEL/ 080-6491-5151 事業内容/ 人材育成に関わる各種研修、セミナー講習講師



コーディネーターの青山喜佐子氏

(株)共栄環境・下田美智代



中本泰一郎氏

南西食品(株)は一九五九年に設立した五十八年の歴史ある企業で、創業当時は沖縄の特産品であるパイナップルの加工を中心とした事業展開をしていました。現在はシークアーサーやマンゴー、パイナップルのトロピカルドリンクの製造に加え、二〇一二年から缶コーヒーの製造も始めました。ロングラン商品であるトロピカルドリンクは四十年間同じパッケージで、地元の方から長く愛されている飲料です。特に、やんばる産シークワサーを使用したシークワサードリンクはイチオシ人気商品です。



主力商品たち

『35』というロゴが目に入る『35COFFEE』は、売り上げの一部をサンゴの保全活動に活用、この五年間で一〇〇本のサンゴの移植を実施しています。このコーヒー、実は風化(死んでしまった)サンゴを使用

浦西支部 企業変革支援プログラム学習会 今後の経営に活かせる！

十一月四日、(有)葬禮社の比嘉良太社長を講師に浦西支部企業変革支援プログラム学習会が七名の参加で開催されました。今回は実践形式で実際にパソコンから登録し、自社分析を行うことができ、とても意義深い学習会でした。



パソコンを使って登録

「うりずん」に求められているもの!!



チームで話し合ったことを発表

十一月二十日、八汐荘にて若手経営者部会「うりずん」のチーム合同打合せ忘年会が三十一名の参加で開催されました。うりずんでは今年度より三チームに分かれて活動

「先ずは一回完成させて慣れること。それから徐々に解釈を深めていくことが大切。また経営指針作成講

十一月十七日、八汐荘にて二十七名の参加で碧の例会が開催され、「私の信念」を生きていくんだから、大丈夫!」をテーマに、onde nitea(株)の生天目千加子社長が報告しました。現



グループ討論で学びを深める

しており、これまでの活動を振り返ると同時に「部会に求められているものは何か」「若手の経営者が真に学べる場にするためには何が必要か」について部会会員で意見交換を行いました。その後は、新会員の皆さんを中心に自己紹介を行いました。親睦を深めました。二〇一八年、沖縄で開催される青年経営者全国交流会に向けてしっかりと準備していきましょう!

碧の会例会 ブランドチェンジの「決断」と支えとなった「信念」

在取り扱う大好きなMT化粧品と出会うまでの道のり、ブランドチェンジの決断とそれに伴う社員や顧客との摩擦、それを乗り越える支えとなった信念、これからの展望等について報告し、「自分との約束を守ることが自分を信じる力になっている」「これからは人との繋がりを大切にしたい」と学び、実践したい」と話され、「美は力です!」と結びました。

座を受講後、運用した方がより理解度が深まります」というアドバイスを頂きました。企業変革支援プログラムは毎度も更新できま



400名の結婚披露宴

通して時を過ごすことでステキな恋が実りました。「今後も皆さんからご指導を受け、成長していきたい」と二人から決意の言葉がありました。

竹富久さん(南部支部長)と当真永子さん(事務局次長)めでたくご結婚!!

十一月十九日、(有)たけ事務・専務の竹富久さんと事務局の当真永子さんの披露宴が行われました。同友会



那覇クルーズターミナルにて山口・新城さんお二人のお話を伺いました。ビルは二〇一四年四月に完成しましたが、それよりも前のターミナル



那覇クルーズターミナル警備隊 隊長 山口 幸男 さん(右) 那覇国際コンテナターミナル警備隊 隊長 新城 仁 さん(左) 沖縄総合管財(株) (会員: 社長 新城榮喜氏) (那覇支部) 所在地/ 那覇市識名 1196-2 TEL/ 098-836-5858 事業内容/ 警備業(常駐警備、交通誘導)

の警備から約十年のキャリアだとお聞きしました。ビルができた当初は外国人の文化や習慣の違いに戸惑ったそうです。職務で大変なことは、大きな船が入港した際にパスが一〇〇台近く入る時の警備です。また、夏場は仕事仲間が熱中症にかかることがあるとのこと

で体調管理は欠かせません。安全第一の保安業ですが、現場の最前線は入港されたお客様のクレームや相談相手にもなるそうです。特に最近ではスマートフォンをタクシーに忘れたなどの相談が多く、タクシー会社に連絡する等ホテルのコンシェルジュみたいな仕事もしていますと語られていました。二人に興味について尋ねたところ、山口さんは「それが趣味かなあ」、新城さんは「仕事が趣味です」と照れたような笑顔で答えていました。

文進印刷株式会社

本社 / 〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4 TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

- 那覇営業所 / 〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18 TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357
- 浦添営業所 / 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14 TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357
- 宜野湾営業所 / 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2丁目4番16 コーポ地下203号 TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357
- 沖繩営業所 / 〒904-2165 沖縄県沖繩市宮里2丁目1番3号 TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357
- 糸満営業所 / 〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町3丁目510番地110 TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357
- うるま営業所 / 〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5 TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357

平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006(プライバシーマーク認定番号24000306(04))を取得いたしました。

<南部支部会員>